

コード	40302
作成年度	23年度

# 基本事業評価表

基本事業名称	特産品の開発
--------	--------

総合計画の位置付け	
政策名称	自立する産業の育成、雇用の確保
施策名称	商工業の振興

課コード	117	関係課名	まちづくり推進課
主管課名	観光物産課		

## 基本事業の目的

農・漁業関係団体との連携を強化しながら、研究開発体制を整備するとともに、物産展・商談会などへの積極的な参加、インターネット利用による地場産品の情報提供、ネット販売など販路開拓を行い、全国に通用する特産品づくりを進めることを目的とする。

## 基本事業の成果

成果指標名称 1	観光消費額	成果指標名称 2	観光消費額（土産代）
成果指標の積算根拠	消費額（実績）÷消費額（目標）	成果指標の積算根拠	土産代（実績）÷土産代（目標）
目標達成年度	平成23年度	目標達成年度	平成23年度
目標達成数値	4,800,000千円	目標達成数値	660,177千円

年		度		H19	H20	H21	H22	H23
成果指標 1	目標 A	単位	千円	4,500,000	4,600,000	4,700,000	4,800,000	4,800,000
	実績 B		千円	3,439,410	3,262,632	3,261,930	3,359,107	
	達成率 B/A		%	76.4	70.9	69.4	70.0	
成果指標 2	目標 A	単位	千円	609,523	607,357	599,210	643,555	660,177
	実績 B		千円	578,436	570,676	612,910	628,740	
	達成率 B/A		%	94.9	94.0	102.3	97.7	

1次評価	現状	本町の特産品は「地域の食」に関心が高まるなか、消費者のニーズにあった産品であるものの、他地域との明確な差別化が図られていないため、ブランド力・販売力に乏しいのが現状である。また、五島うどん、水産加工品、椿油、海水塩などの既存の商品の知名度は向上しているものの、消費者に訴求できる新商品が少ないため目新しさに欠ける感がある。
	課題	現在は特産品のPRが十分にできている状況にあるとは言えず、本町の特産品の知名度はまだ浸透していないため、物産展や商談会等を通して効果的かつ継続的なPRを展開する必要がある。また、多様化する消費者のニーズを掴み、より魅力的な商品開発や既存商品の改善を行うことで、特産品のブランド力の向上を図らなければならない。
	改善	商品開発から販売までを一貫して行い、全国に通用する特産品開発とPRを行うために、農林・水産・商工・観光物産の横断的な連携による事業展開を図る。また、農商工連携支援制度などの各種助成制度を活用しながら、より魅力的な商品開発や特産品PRに努める。島外でのPRと併せて島内小売店・飲食店・宿泊施設等での地場産品の利用を促進し、島内需要の拡大を図る。

2次評価	五島うどんや水産加工品、椿製品、塩等の特産品においては、知名度が低いという情報力不足もさることながら、商品としての製品化、価値化、流通の課題がある。観光物産課をはじめ、関係する各課との連携を要する者であり、情報を共有する体制を整備し事業展開を図っていくこと。
------	---

住民等の意見	
--------	--

町の対応	
------	--

※2次評価の公表後に住民等の意見があった場合には、再度公表するものである。